KOKUHO MIYAGI

みやぎの国保

4
2016 Spring
[No.264]

国保のなかまたち
女川町　平成27年度の特定健診・保健指導の実施状況　P2～3

新シリーズ　データヘルス最前線
亘理町　データヘルス計画推進中！
～住民とともに健康課題の解決へ～　P4～5

Health Information　P6
みやぎの頼れるサポーター　P7
国保連コーナー　P8～15
旬のたより　P16

小春日和＊週末の小乗浜漁港<女川 2016>

国保のなかまたち

女川町

【おながわちょう】

女川町
町章

女川町は、宮城県の東、牡鹿半島基部に位置する、風光明媚なリアス式海岸が形成した港町です。かきやホタテ、銀鮭などの養殖業が盛んで、金華山沖漁場が近く豊富な魚種が水揚げされます。

女川温泉ゆぽっぽから望む朝陽

市町村国保のいま

女川町は、人口減少とともに国保被保険者数も年々減少している一方、前期高齢者の割合は増加傾向にあり、医療費増加の一因となっています。

国保被保険者数は、平成26年度2,421人（前年比9.16%、244人の減）、加入率34.53%となっています。このうち前期高齢者は986人、構成比40.73%であり前年比2.76%、28人の減となっています。

また、国保税の収納率については、平成25年度96.76%、平成26年度96.15%（県内第4位）と県平均を上回る収納率となっています。

＜町の国保の概況＞

		平成25年度	平成26年度
町の人口[人]		7,335	7,012
国保世帯数[世帯]		1,497	1,388
国保加入割合（被保険者数割）[%]		36.33	34.53
国保税収納率（現年分）[%]		96.76	96.15
被保険者数[人]	一般	2,612	2,376
	退職	53	45
	合計	2,665	2,421
1人当たり医療費[円]	一般	319,906	368,152
	退職	677,400	485,118
	合計	326,514	370,350
特定健診受診率[%]		49.3	53.8

〔表紙作者紹介〕

かわむら みほ（2016年より仕事名を【斎藤ミホ】から変更）

造形作家/イラストレーター

仙台市生まれ。

東北工科美術専門学校＜現 東北文化学園専＞グラフィックデザイン科卒。母校の教員を経て1995年よりイラスト制作業(フリー)。

現在は、水彩画の他、板木彫り絵＜独自表現＞、木版画作品を制作。個展＜仙台、盛岡、東京＞等での発表を中心に活動している。

牡鹿郡女川町＜小乗浜漁港＞

小春日和の週末、かつて金華山一の鳥居があった女川＜小乗浜漁港＞へ。
心地よい潮の香り。ユーモラスなカモメたちの鳴き声
柔らかな波に揺れる停泊漁船。漁師たちの和やかなおしゃべり。
そして、女川の町全体を包みこむ大小の工事音。
起こってしまった様々な出来事を記憶の中に静かに受け留めながら町はひとつひとつ前に進んでいきます。
祈りの思いを込めながら＜小乗浜漁港＞をスケッチしてきました。

健康づくりでまちづくり

わがまちの取り組み

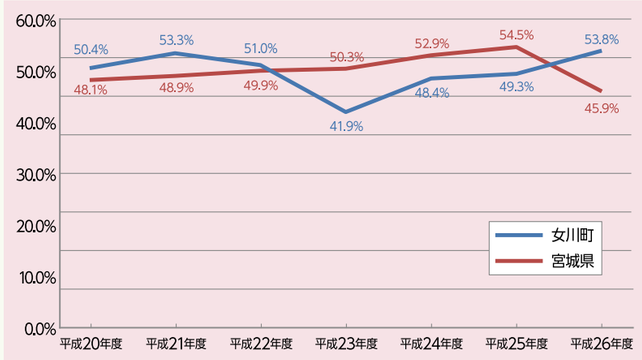
平成27年度の特定健診・保健指導の実施状況

平成27年度は、6月15日から6月27日と10月9日に町内各会場で集団検診を実施し、集団検診を受けられなかった方に対しては、女川町地域医療センターにて個別検診を実施しました。対象者1,758人に対して、951名が受診し、受診率は54.1%でした。

保健指導については、7月30日から8月7日にかけて各地区集会所等を巡回して健診結果説明会を実施しました。説明会では、一人ひとりその方のデータを説明し、本人と相談しながら健診結果をお返ししています。

また、特定保健指導や重症化予防が必要な方には、訪問等により適切な指導を行いました。特定保健指導実施率は、積極的支援・動機付け支援合わせて119名の対象者のうち87名に実施し、実施率は73.1%の見込となっています。

特定健診受診率推移（法定報告から）



健康づくりイベント紹介

平成28年2月14日（日）に女川町まちなか交流館を会場として、第32回健康をつくる町民のつどいを開催しました。

宮城県国保連合会や女川町地域医療センター等多くの機関の御協力をいただき、体力測定や健康チェック、食育体験コーナーなど、参加者が楽しく健康づくりを体験できるようなイベントにしました。

ステージイベントでは、町内保育所児童と東北福祉大学の学生、地元の高齢者で組織する女川若返り隊が健康づくり活動の一環として取り組んできた「ダイナミック琉球」の群舞を披露すると、300人を超える観客から大きな歓声が上がり、世代を超えてつくり上げてきた活動が多くの感動を呼びました。

▲ダイナミック琉球

▲健康チェックコーナー

新シリーズ

データヘルス最前線

全3回

昨年度の「みやぎの国保」にて、シリーズ連載でお送りしていた「おしえて!データヘルス（全4回）」の継続企画として、今年度は実際にデータヘルス計画を策定し、保健事業を実施している保険者を全3回で紹介いたします。

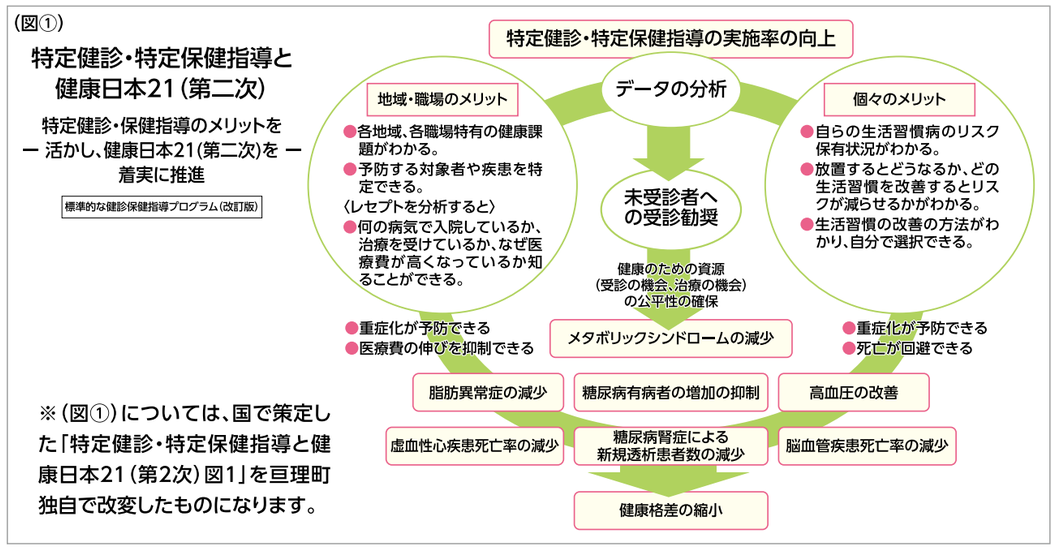
第1回【亘理町（わたりちょう）】データヘルス計画推進中! 住民とともに健康課題の解決へ

亘理町では、亘理町国民健康保険保健事業計画【データヘルス計画】を平成27年3月に策定しました。

計画策定では、標準的な健診保健指導プログラム（改訂版）の「特定健診・特定保健指導と健康日本21（第2次）図1」の改変版（図①）を基本に置き、特定健診等実施計画と健康増進計画との整合性を図ることを意識しました。

これまでの分析との違いは、保健師・栄養士が日ごろの保健活動から把握している情報と合わせて、KDBを活用して健康課題を明確化したことです。

（図①）



※（図①）については、国で策定した「特定健診・特定保健指導と健康日本21（第2次）図1」を亘理町独自で改変したものになります。

健康課題の分析

健康課題は、町の特性の明確化に努めました。（表①）

（表①）

分析の視点	❶どのような疾患でどのくらい医療費を要しているか ❷より高額な医療費は何か ❸それは予防可能な疾患か ❹健診を受けて予防的な医療がなされているのか ❺重症化しているのか
健康課題	❶健診未受診者が重症化して高額な医療や介護保険の利用につながっている ❷健診未受診者の生活習慣病にかかる治療費が健診受診者の7.5倍 ❸健診未受診者の6割が生活習慣病治療者 ❹40～64歳の受診率が低い ❺メタボリックシンドローム、糖尿病等の生活習慣病が心疾患、脳血管疾患、腎不全の増加の原因

実施内容

健康課題を解決するために、特定保健指導該当者に加え、重症化すると脳・心・腎臓の疾患を発症する可能性の高い方も保健指導対象者として抽出しています（表②）。そのため、保健指導は保健師6人、栄養士5人（委託を含む）で、地区担当保健師が中心となって個別支援を実施する体制をとっています。

また、効果的・効率的に保健指導を実施するために、対象者に合わせた保健指導内容や学習教材の活用について、事例検討会を実施して、保健師・栄養士のスキルアップを図っています。

個別支援と併せて、次の事業にも取り組んでいます。

○集団健診会場で健康相談

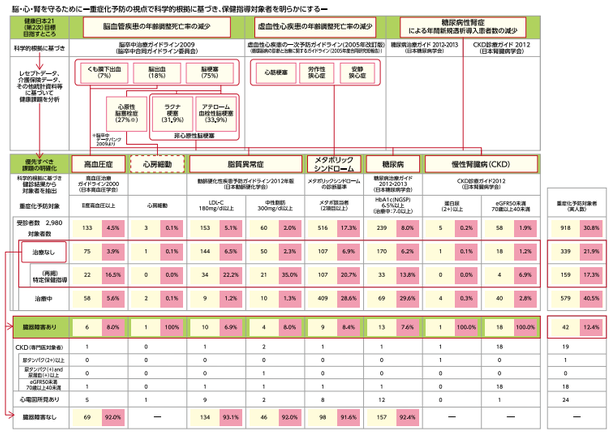
特定健診の継続受診促進及び保健指導実施率向上を目的として、40～69歳（※）を対象に実施しました。保健指導につながるよう、健診受診と保健指導の必要性と併せて、連絡先や帰宅時間、連絡していい時間、生活で気を付けていること、治療歴等を教えていただき、また、保健指導の時間が取れない方へは、健診結果の見方と生活習慣を結びつけるような説明をしています。

（※）対象を40～69歳としたのは、在宅率が低く戸別訪問が難しいため

○受診率向上のための健康教育

地域の集会や会合での健康教育では、データヘルス計画を通してわかった、医療費や健診受診率、介護の状況等の実態を数値で説明し、健康課題や健診・保健指導の必要性を呼びかけています。

（表②）　※詳細はホームページをご覧ください。



脳・心・腎を守るために―重症化予防の視点で科学的根拠に基づき、保健指導対象者を明らかにする―

健康日本21（第2次）目標すところ	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少			虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少		糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	
科学的根拠に基づき	脳卒中治療ガイドライン2009（脳卒中合同ガイドライン委員会）			虚血性心疾患の一次予防ガイドライン（2005年改訂版）（循環器病の発症と進展に関するガイドライン（2009年度合同研究報告））		糖尿病治療ガイド 2012-2013（日本糖尿病学会）	CKD診療ガイド 2012（日本腎臓病学会）
レセプトデータ、介護保険データ、その他統計資料等をもとにして健康課題を分析	くも膜下出血（7%）	脳出血（18%）	脳梗塞（75%）	心筋梗塞	狭心症	心筋梗塞	労作性狭心症
	心原性脳梗塞症（27%※）	ラクナ梗塞（31,9%）	アテローム血栓性脳梗塞（33,9%）			安静狭心症	
	※脳卒中ガイドライン2004より		非心原性脳梗塞				
優先すべき課題の明確化	高血圧症	心房細動	脂質異常症	メタボリックシンドローム	糖尿病	慢性腎臓病（CKD）	
科学的根拠に基づき健診結果から対象者を抽出	高血圧治療ガイドライン2000（日本高血圧学会）		動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年版（日本動脈硬化学会）	メタボリックシンドロームの診断基準	糖尿病治療ガイド 2012-2013（日本糖尿病学会）	CKD診療ガイド2012（日本腎臓病学会）	
重症化予防対象	収縮期血圧以上	心房細動	LDL-C 180mg/dl以上	中性脂肪 300mg/dl以上	メタボ該当者（2項目以上）	HbA1c(NGSP) 6.5%以上（治療中7.0以上）	尿白質（2+）以上
							eGFR50未満 70歳以上40未満
受診者数 2,980	133 4.5%	3 0.1%	153 5.1%	60 2.0%	516 17.3%	239 8.0%	5 0.2% 58 1.9%
対象者数							
治療なし	75 3.9%	1 0.1%	144 6.5%	50 2.3%	107 6.9%	170 6.2%	1 0.1% 18 1.2%
（再掲）特定保健指導	22 16.3%	0 0.0%	34 22.2%	21 35.0%	107 20.7%	33 13.8%	0 0.0% 4 6.9%
治療中	58 5.6%	2 0.1%	9 1.2%	10 1.3%	409 28.6%	69 29.6%	4 0.3% 40 2.8%
臓器障害あり	6 8.0%	1 100%	10 6.9%	4 8.0%	9 8.4%	13 7.6%	1 100.0% 18 100.0%
CKD（専門医対象者）	1	0	1	2	1	1	1 18
尿タンパク（3+）以上	0	0	0	0	0	0	1 0
尿タンパク（1+）and 血清Cr 1.5以上	0	0	0	1	0	0	0 0
eGFR50未満 70歳以上40未満	1	0	1	1	1	1	0 18
心電図所見あり	5	1	9	2	8	12	0 1
臓器障害なし	69 92.0%	—	134 93.1%	46 92.0%	98 91.6%	157 92.4%	— —

	重症化予防対象者（実人数）
	918 30.8%
	339 21.9%
	159 17.3%
	579 40.5%
	42 12.4%
	19
	1
	0
	18
	24
	—

データヘルス計画を通して

データヘルス計画を策定し保健事業を実施したことで、住民が町の健康課題をイメージでき、伝わりやすくなったと感じます。

データヘルス計画に沿った内容の健康教育は、住民が健診・医療や介護の状況が数値や金額で他町村と比較でき、自分の住んでいる地域の状況が分かり、疾病を予防するには（負担を減らすには）どうすればいいかを考えられるため、これまでの健康教育の反応と違ってきています。

また、保健指導の対象者を明確化して個別支援を実施したことは、一人一人の健康課題を改善し、重症化を予防することにつながりました。

最後に、データヘルス計画に基づいた保健事業は始まったばかりです。今後もPDCAサイクルに沿って保健事業を実施・検証し、より効果的・効率的な方法・内容に改善して、被保険者の健康増進、糖尿病等の生活習慣病の発症・重症化を予防できるように取り組んでいこうと思います。

「亘理町データヘルス計画」については亘理町公式ホームページにも掲載しておりますので、そちらもぜひご覧ください!!

Health Information
ヘルスインフォメーション

最近の歯科医療のコンセプト

西多賀歯科クリニック 院長 佐藤（さとう） 勝（まさる）

＋8020運動

日本歯科医師会と厚生労働省が活動を展開している8020運動という言葉もかなり世の中に定着してきたように感じます。ご存知のように80歳になった時に20本の歯が口腔内に残っていることを目標に展開している運動です。

厳密に言いますと、「21世紀における国民健康づくり運動」にて西暦2000年に提唱されたときの8020運動の目標は「2010年までに80歳になった方の歯数が20本以上ある割合を20%以上とする」というものでした。

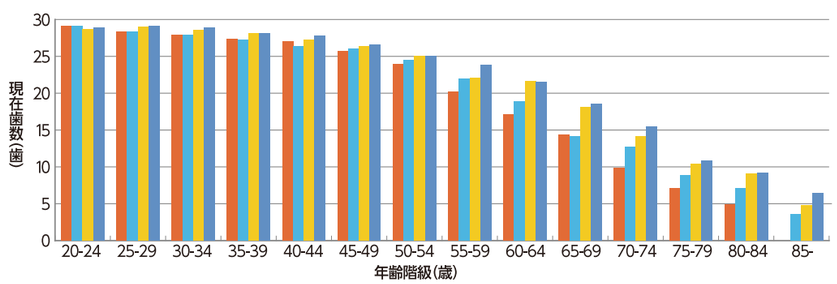
実際の80歳の歯の状況はどのようになっているかといえば、平成11年に行われた第8回歯科疾患実態調査では80歳～84歳の残存歯数20歯以上の方は13%という結果でしたが、平成17年に行われた第9回歯科疾患実態調査では21%を超えていて、8020の当面の目標は達成されたことになります。

20歯以上有する者の割合（%）

調査年	年齢階級（歳）									
	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
昭和62年	91.8	80.9	72.6	54.9	40.1	26.8	15.2	9.4	(7.0)	(-)
平成5年	92.9	88.1	77.9	67.5	40.9	31.4	25.5	10.0	11.7	2.8
平成11年	97.1	90.0	84.3	74.6	64.9	48.8	31.9	17.5	13.0	4.5
平成17年	98.0	95.0	88.9	82.3	70.3	57.1	42.3	27.1	21.1	8.3

＋20歯以上を有する者の割合は40歳以上のいずれの年齢階級でも増加。
＋80歳で20歯以上の歯を有する者の割合は、初めて20%超。
（75～79歳では27.1%、80～84歳では21.1%）

1人平均現在歯数の年次推移（注：現在歯数とは、残っている歯の総数で、健全歯、処置歯、未処置歯の全てを含む）



＋1人平均現在歯数は増加傾向。
＋80歳の1人平均現在歯数は、約10歯。
（75～79歳では10.66歯、80～84歳では8.87歯）

※昭和62年調査の80歳以上の年齢階級は参考値。（80歳以上の層をひとつの年齢階級としたため、平成5年、11年、17年の調査値とは質的に違うデータである）

＋歯科医療のパラダイムシフト

それではなぜ、このように口腔内に残る歯の数が問題になるのでしょうか?何でもよくものが噛めておいしく食事ができること。一見当たり前のことですが、このことがとても重要であることがいろいろと分かってきたのです。マウスの実験ではありますが、歯を抜いたマウスと、歯があるマウスとでは、エサにたどり着くための障害をクリアーする学習能力に差が出て、歯のあるマウスの方の学習能力が高いことが実験で証明されています。統計による分析でも、このようによく噛めている状況の方々が健康余命、平均余命が長くなるとされています。痴呆で寝たきりに近かった状況の老人に、しっかりと噛める義歯を装着したところ、庭仕事ができるまでに回復した事例も報告されています。

今までの歯科治療は、歯や咬み合わせの形態回復、機能回復という視点でのものが一般的でしたが、最近では「いかにして口腔内の機能を維持管理していくか」という視点にパラダイムシフトしてきています。口腔内の管理は歯の問題にとどまらず、口腔内の衛生状況、飲み込み（摂食・嚥下）機能も関係してきます。去る東日本大震災でも口腔内の衛生管理が問題となりました。避難所性肺炎等と呼ばれたものがそれで、不潔になった口腔内の食べ残しや雑菌が肺に入ってしまい、肺炎を起こしてしまうというものでした。このように口腔内の維持管理は全身疾患にも関係することが明らかになってきています。たかだか歯のことと馬鹿にするなかれということでしょうか。

みやぎの頼れるサポーター

みんなの健康をサポート!

今回のサポーター

涌谷町町民医療福祉センター
福祉課包括支援班 保健師 渥美（あつみ） 真子（まさこ）さん

人とのつながりを大切に

3月まで涌谷町町民医療福祉センター健康課健康づくり班で、特定健診と健康推進員協議会を担当していた渥美さん。元気な子どもたちや暖かい家族、頼れる同僚や地域の人たちに支えられ、支えています。

担当していた保健事業の内容

主に特定健診と健康推進員協議会を担当していました。特定健診は昨年度に担当になったばかりで、日々勉強中でした。健康推進員協議会では、涌谷町は特に国保の高血圧の受療率、医療費がともに県内で上位になっていたため、地区の健康づくりの担い手として活動していただいている319名の健康推進員さんと一緒に、地域で特定健診の受診勧奨の声がけや、減塩対策について取り組んでいました。国保のデータなどを参考に「地域で何をしたらいいのか」を考え、それを実践につなげられるやりがいのある仕事でした。

毎日の仕事で心がけていること

誰でもそうかもしれませんが、仕事をするうちに行き詰まることが定期的にやってきます。そんな時は「強くなくとも折れない心」（笑）を持ち、同僚に力を借りながら、とにかく前向きに仕事と向き合うよう心がけています。そうしていると良い方向に向かっていくように思えます。

また担当業務だけにとらわれず、包括支援班全体で情報共有したり、意見をもらいながら業務を行うことが、仕事を進める上で大切だと思います。

健康法と気分転換の秘訣

「何でも食べること」「食べる時は太ることを考えず、美味しく食べること」です。また、同居している義父母に子どもたちの面倒をみてもらっているので、その分身体も気持ちも余裕をもって生活できていると思います。それも自分が健康な大きな理由だと思います。

気分転換は、休日に子どもたちと過ごすこと。7歳と3歳の男の子2人が「ママ聞いて～」「ママ見て～」と絶え間なく話しかけてきたり、次々といたずらをしたりするので、余計なことを考えている暇がありません。それが良い気分転換になっているのかなと思います。（笑）

また、週1回子どもたちと一緒に地区の和太鼓の練習に参加しています。新しいリズムを覚える楽しさと、思い切り叩く爽快さ、みんなと合わせた時の一体感などが得られ、かなりストレス発散になっていると思います。

今後の目標

平成13年に涌谷町国保病院、その後役場の健康課・福祉課と移り、現在中堅期です。これからもいろいろな経験を積んで、行政職、保健師としていろいろな分野でレベルアップしていきたいと思います。そして多方面から、健康づくりや地域づくりを考えられるようになることが目標です。

また、同僚や住民の方々など、人とのつながりを大切にしながら、人間としても成長していけたらと思っています。

渥美さん、たくさんの質問に答えていただき、ありがとうございました。

TOPICS

平成27年度 第２回通常総会

平成28年度
事業計画など原案どおり可決

2月19日、本会第2会議室（役員会議室）で、平成27年度第２回通常総会が開催された。

開会の挨拶において、佐藤理事長は会員各位に対し謝辞を述べ、さらに、「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」により、都道府県と市町村が共同で国保運営を進めていくことになったことに触れ、国保連合会として新国保制度対策室を設置し、円滑な移行準備作業に全力で当たっていく旨話された。

また、マイナンバー制度の施行に伴い、今まで以上にセキュリティ対策の盤石化を図るとともに、個人情報を含む重要情報の管理体制に万全を期していくことが表明された。

次に来賓の祝辞に移り、宮城県保健福祉部長（代理：保健福祉部国保医療課　髙橋伸夫課長）、続いて宮城県歯科医師会細谷仁憲会長が祝辞を述べられた。

その後、総会議長に村田町の佐藤英雄町長が選任され、平成28年度事業計画及び各種歳入歳出予算などについて審議が行われ、全議案ともに異議なく満場一致で可決承認された。

開会の挨拶をする
佐藤理事長

県保健福祉部長祝辞を代読する
髙橋国保医療課長

祝辞を述べる
細谷県歯科医師会会長

議長の
佐藤村田町長

平成28年2月15日開催の理事会において、議決された下記事項について公告する。

公告第6号
諸規則等の一部改正及び制定

・国保運営資金融資規則等を廃止する規則
・国保高齢者医療制度円滑導入基金管理運営規程を廃止する規程
・職員服務規則及び個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則
・特定個人情報等の適正な取扱いの確保に関する規程
・役員の費用弁償に関する規則の一部を改正する規則

平成28年2月15日
宮城県国民健康保険団体連合会 理事長　佐　藤　　昭

平成28年2月19日開催の通常総会において、議決された下記事項について公告する。

公告第7号
・役員の就任について

公告第8号
・平成28年度事業計画

公告第9号
・平成28年度会員負担金及び各種審査手数料等
・平成28年度各種会計歳入歳出予算

公告第10号
・規約の一部を改正する規約
・財産の処分について

公告第11号
・次期国保総合システム構築及びデータ移行業務等に係る債務負担行為

公告第12号
・平成27年度各種会計歳入歳出補正予算

平成28年2月19日
宮城県国民健康保険団体連合会 理事長　佐　藤　　昭

※平成28年2月15日開催の理事会において議決された諸規則等の一部改正等について、及び平成28年2月19日開催の通常総会において議決された事項については、本会ホームページに掲載。

TOPICS

平成28年度　第三者行為求償事務
―自転車事故に係る求償事務の受託開始（平成28年4月から）―

本会では自動車事故に起因する損害賠償請求事務のうち、自動車保険（自賠責・任意保険）の事案に限り求償事務を受託していましたが、近年、自転車による事故が歩道や公園など多様な場所で発生し、また、運転者が未成年であったりと複雑多岐にわたるため、非常に難解なケースが存在します。

このようなことを踏まえて、今年度から、自転車事故の損害賠償責任保険に対する損害賠償金の請求及び受領の受託を開始しますのでお知らせします。

今後も第三者求償について、更なる保険者支援の充実を図って参りますので、よろしくお願いします。

TOPICS

介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会

今回のテーマ

「『介護事業所のリスクマネジメント』～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～」

平成27年度の制度改正による予防訪問介護及び予防通所介護サービスの平成30年4月までの総合事業への段階的移行、また、平成28年度4月制度改正での小規模通所介護事業所の地域密着型への移行などにより市町村が指定監督する介護（予防）サービスが増加しています。指定した事業所やサービスに苦情があった場合には、事実確認、原因の調査、再発防止のための改善策作成、改善策に沿った改善の実施、改善後の結果検証、いわゆるPDCAサイクル「PLAN（計画）、DO（実践）、CHECK（検証）、ACTION（改善）」と呼ばれるものの構築を指導する必要があります。つまり、事業所自らが日々介護サービスの質の向上を高めていくことができるようしていかなければならないということです。

このため本会では毎年研修会を開催しているところですが、今年度は、実際に発生した介護事故に関する判例をもとに、今後どのようにして事業所サービスの質の向上を目指していけばよいかを考えるきっかけとしていただければと、テーマに設定しました。

ヒヤリハット報告書の提出を増やしているのに事故が減らない、リスクマネジメント委員会を設置しているのに同じ事故が発生する。今回の研修会では、実際の裁判例を基にして、なぜ事故が発生したのか、今後の防止対策、利用者や御家族への対応等様々な方向から検証していく予定です。普段多忙を理由にリスクに気づきながら見逃していませんか。小さなうちにリスクの芽を摘んでいくことで事故が防止されることになり、健全な事業所運営につながっていきます。直近の介護事故判例等についても研修内で説明いたします。ぜひ御出席をお願いいたします。

日時 平成28年６月22日（水）
- ●12：30　受付開始
- ●13：15　開会
- ●16：15　閉会

場所 仙台市泉文化創造センター（イズミティ21）大ホール（1,450席）

講演 演題　「介護事業所のリスクマネジメントについて～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～」
講師　東北福祉大学 総合福祉学部 准教授　菅原好秀 氏

TOPICS

新国保制度に係るシステムの開発に伴う対応について

厚生労働省からの指示を受け、現在国民健康保険中央会において新国保制度における事務の円滑な実施のため、「国保保険者標準事務処理システム」の開発が進められています。本会としては、平成30年度に向け、宮城県をはじめ、関係機関の皆様と連携を図り、新国保制度が円滑に導入・実施されるよう保険者支援に積極的に取り組んでまいります。現在予定されている平成28年度におけるシステムリリース等及び想定される市町村等が取り組まなければならないシステム関連業務は、次のとおりです。

なお、リリース等の情報は、国民健康保険中央会のホームページにおいて公開される予定です。

1 国保事業費納付金等算定標準システム

NO	期　日	リリース等	対　応　等
1	平成28年4月8日	連携データインターフェース仕様公開	市町村は、仕様書に基づいて連携データを作成するため、自庁システムを改修（平成28年4月～9月）
		機器調達仕様書公開	都道府県
2	平成28年10月	簡易算定版プログラムリリース	都道府県

平成29年度試算及び平成30年度本算定に必要となるデータについては、市町村事務処理標準システムを導入する市町村でも、スケジュールの関係から現行市町村システム（自庁システム）からの作成が必要です。

2 国保情報集約システム

NO	期　日	リリース等	対　応　等
1	平成28年4月8日	連携データインターフェース仕様書公開	市町村は、仕様書に基づいて連携データを作成するため、自庁システムを改修（平成28年4月～9月）
2	平成28年10月	異動データチェックツールリリース※	市町村は、チェックツールを用いて、異動データを事前チェック

※異動データチェックツールリリースについて

市町村では、1の仕様に基づき準備した異動データに対して、２でリリースされる異動データチェックツールを使用した事前チェックを実施する。

3 市町村事務処理標準システム

NO	期　日	リリース等	対　応　等
1	平成28年4月8日	開発要件定義書公開	
2	平成28年8月	基本設計書公開	市町村は、開発要件定義書と基本設計書から本システムの導入を検討
3	平成28年8月～9月	導入意向調査	市町村に対し、導入意向調査を実施予定
4	平成29年1月	機器調達仕様書公開	導入する市町村は、仕様書に基づき、機器の調達、環境構築の実施（平成29年1月～9月）
		移行データインターフェース仕様書公開	導入する市町村は、仕様書に基づき、自庁の国保システムからの移行データ作成

平成28年2月

①宮城県国保診療施設協議会役員会及び研修会

2月12日～13日にかけて、宮城県国保診療施設協議会の役員会等について開催されました。この会議では、役員会、医師部会、事務長部長、合同会議、合同研修会が行われました。合同研修会には、秋田県横手市市立大森病院の小野剛院長をお招きし、地域医療包括ケアについて講演をいただきました。

平成28年1月

●15日(金)
宮城県地域医療構想策定調整会議委員及び宮城県保険者協議会医療計画部会正副会長合同会議

●18日(月)
柔道整復療養費審査委員会

●21日(木)
介護サービス苦情処理委員会

●22日(金)
介護給付費等審査委員会介護医療部会

●21日(木)～26日(火)
診療報酬審査委員会

平成28年2月

●4日(木)
三役会議

●12日(金)～13日(土)
宮城県国保診療施設協議会役員会及び研修会 ①

●15日(月)
理事会
保険者協議会

●16日(火)
柔道整復療養費審査委員会

●19日(金)
通常総会(※8ページ参照)
宮城県国保診療施設協議会総会

●19日(金)～24日(水)
診療報酬審査委員会

●22日(月)
介護サービス苦情処理委員会
宮城県在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会

●24日(水)
介護給付費等審査委員会介護医療部会
第2回宮城県国保連合会保健事業支援・評価委員会

平成28年3月

●1日(火)
宮城県国保運営協議会連絡会監事会及び委員会

●7日(月)
宮城県国保運営協議会連絡会通常総会及び研修会 ②

●10日(木)
特定健診・保健指導実践者スキルアップ研修会

●18日(金)
柔道整復療養費審査委員会
第3回宮城県国保連合会保健事業支援・評価委員会 ③

●18日(金)～24日(木)
診療報酬審査委員会

●22日(火)
介護保険制度改正等に係る説明会

●24日(木)
介護給付費等審査委員会介護医療部会

●25日(金)
介護サービス苦情処理委員会

平成28年3月

②宮城県国保運営協議会連絡会通常総会及び研修会

3月7日、宮城県国保運営協議会連絡会の通常総会が開催されました。総会では、平成26年度の事業報告及び平成28年度の事業計画等について審議し、満場一致で議決されました。その後、総会時研修として、東北公済病院代謝内分泌・高血圧内科部長の山岸俊夫氏から、生活習慣病予防についての講演をいただきました。

③第3回宮城県国保連合会保健事業支援・評価委員会

3月18日、第3回保健事業支援・評価委員会を開催しました。今回の委員会では、平成26年度にヘルスアップ事業を行った保険者の個別保健事業の実施状況に対する評価や平成27年度同事業を行っている保険者に対する意見等を委員の方からいただきました。

国保連コーナー

人事異動

宮城県保健福祉部国保医療課

▶転任等

旧所属	氏　名	新所属等
参事兼国保医療課長	髙橋伸夫	退職 （平成28年3月31日付）
国保医療課副参事	星　和行	農林水産部食産業振興課 副参事兼課長補佐（総括担当）
国保医療課長補佐（班長）	菅原浩幸	震災復興・企画部 統計課長補佐（班長）
国保医療課	神　俊輔	出納局会計課
国保医療課	半澤吉充	総務部財政課

▶転入等

平成28年4月1日付

新所属	氏　名	旧所属等
国保医療課長	佐山敏信	仙台地方振興事務所 地方振興部長
国保医療課長補佐 （後期高齢者医療広域連合派遣）	伊藤哲也	震災復興・企画部震災復興・ 企画総務課長補佐兼企画員（班長）
国保医療課長補佐（班長）	小形英雄	教育庁文化財保護課長 補佐（班長）
国保医療課長補佐（班長）	加藤孝徳	総務部私学文書課長補佐
国保医療課主査	小松幸子	震災復興・企画部 情報政策課主査
国保医療課	齋藤慎之介	経済商工観光部 商工経営支援課
国保医療課	市川　修	総務部広報課
国保医療課	後藤和史	北部県税事務所 栗原地域事務所

国保連合会

▶異動等（係長以上及び新規採用）

平成28年4月1日付

新所属・職名	異動区分	氏　名	旧所属・職名
財務課課長		齋藤正浩	介護保険課課長
事業推進課課長		菅谷正孝	財務課課長
介護保険課課長		田中政俊	事業推進課課長
審査管理課副参事 兼課長補佐管理係長事務取扱		安達　勉	情報管理課副参事兼課長補佐 システム係長事務取扱
情報管理課副参事兼課長補佐 保険者標準事務処理 システム担当		西條雅之	審査管理課副参事兼新国保制度 対策室副参事兼課長補佐 管理係長事務取扱
総務課課長補佐		佐藤智浩	事業推進課課長補佐 兼保健事業係長
事業推進課課長補佐 兼事業係長		鈴木　潤	事業推進課課長補佐 兼企画調査係長
介護保険課課長補佐 兼審査係長		鴇田健司	総務課課長補佐
審査業務課課長補佐 兼第一係長		飯塚新一	審査業務課課長補佐兼 第三係長
審査業務課課長補佐兼 第四係長	昇任	渡邊鋭一	審査業務課主幹兼第一係長
総務課主幹兼企画予算係長 兼新国保制度対策室調整係長		早坂敏幸	審査業務課主幹兼第六係長
事業推進課主幹兼 保健事業係長		門間昌子	介護保険課主幹兼審査係長

新所属・職名	異動区分	氏　名	旧所属・職名
審査管理課主幹 兼保険者支援係長	昇任	澤田　渉	審査管理課主幹
情報管理課主幹 兼システム係長		川嶋義顕	情報管理課主幹 兼共同処理係長
情報管理課主幹 兼共同処理係長	昇任	千葉由美子	事業推進課主幹
審査業務課主幹 兼第二係長		守　喜三男	審査業務課主幹兼 第四係長
審査業務課主幹兼 第三係長		阿部　覚	審査管理課主幹 兼保険者支援係長
審査業務課主幹兼 第六係長	昇任	菊地　慎	審査管理課主幹
総務課主事		安住早紀	新規採用
財務課主事		高谷大輝	新規採用
事業推進課主事		前田健人	新規採用
介護保険課主事		佐藤　峻	新規採用
審査業務課主事		遠藤基矢	新規採用
審査業務課主事		阿部拓也	新規採用

▶派遣職員

平成28年4月1日付

新所属・職名	異動区分	氏　名	旧所属・職名
総務課主査 （宮城県派遣）	派遣	髙橋則孝	事業推進課主査 兼新国保制度対策室主査
総務課主任主査 （広域連合派遣）	昇任 派遣	多田　智	審査管理課主査

▶退職

平成28年3月31日付

旧所属・職名	氏　名	
審査業務課課長補佐兼第二係長	佐藤悦子	(平成28年4月1日付 再任用)
審査業務課主幹	内海政則	(平成28年4月1日付 再任用)
審査業務課主幹	鈴木　宏	(平成28年4月1日付 再任用)

事務局組織図

平成28年4月1日現在

役　員

理事長　佐藤　昭（塩竈市長）
副理事長　浅野　元（大和町長）
副理事長　佐藤英雄（村田町長）
常務理事　小林　裕

- 副参事 齋藤雄悦
  - 事務局長 門間博幸
    - 事務局次長（総務担当）小室正良
      - （8名）総務課 課長 芳賀克文
        - 課長補佐 佐藤智浩
          - 総務係 主幹兼係長 長田雅美
            - 機関会議等に関すること
            - 予算執行に関すること
            - 一般庶務に関すること
          - 企画予算係 主幹兼係長 早坂敏幸
            - 国保事業の総合的企画及び調整に関すること
            - 国保に関する情報の収集及び調査研究に関すること
            - 事業計画、予算の編成に関すること
      - （兼務3名）新国保制度対策室 室長 事務局次長（総務担当）兼務
        - 調整係 係長（企画予算係長兼務）
          - 新国保制度に関すること
      - （6名）財務課 課長 齋藤正浩
        - 課長補佐 本田典子
          - 財務係 主幹兼係長 大窪享子
            - 監事会に関すること
            - 出納管理及び決算に関すること
            - 診療報酬等の支払に関すること
          - 求償係 係長（課長補佐兼務）
            - 債権譲渡に関すること
            - 財政安定化・高額医療費共同事業に関すること
            - 第三者行為求償事務に関すること
      - （8名）事業推進課 課長 菅谷正孝
        - 課長補佐 鈴木 潤
          - 事業係 係長（課長補佐兼務）
            - 県国保運協連絡会等に関すること
            - 広報事業に関すること
            - 国保診療施設協議会等に関すること
            - 保険者協議会に関すること
          - 保健事業係 主幹兼係長 門間昌子
            - 市町村保健事業の支援に関すること
            - 全疾病分析システム等医療統計に関すること
            - 国保データベースシステムに関すること
            - 在宅保健師等活動者連絡協議会に関すること
            - 特定健診等の費用決済、データ管理に関すること
      - （10名）介護保険課 課長 田中政俊
        - 課長補佐 鴇田健司
          - 審査係 係長（課長補佐兼務）
            - 介護保険関連保険者事務共同処理業務に関すること
            - 介護保険給付の審査支払及び審査委員会に関すること
        - 課長補佐 大窪正己
          - 苦情相談係 係長（課長補佐兼務）
            - 年金特別徴収経由機関業務に関すること
            - 介護保険苦情処理及び苦情処理委員会に関すること
            - 介護サービスワンランクアップ事業に関すること
            - 障害者総合支援支払業務に関すること
    - 事務局次長（審査担当）佐藤 智
      - （10名）審査管理課 課長 事務局次長（審査担当）兼務
        - 副参事兼課長補佐 安達 勉
          - 管理係 係長（副参事事務取扱）
            - 審査業務の総括に関すること
            - 審査委員会に関すること
            - 医療機関マスタに関すること
            - 乳幼児共同処理に関すること
            - 出産育児一時金に関すること
          - 保険者支援係 主幹兼係長 澤田 渉
            - 再審査に関すること
            - 保険者支援、レセプト点検の支援に関すること
            - 調剤高額レセプトの審査に関すること
            - 医科、調剤突合点検に関すること
      - （10名）情報管理課 課長 深町美昭
        - 副参事兼課長補佐（保険者標準事務処理システム担当）西條雅之
          - システム係 主幹兼係長 川嶋義顕
            - 国保総合システムの統括的管理に関すること
            - 保険者業務システムの管理に関すること
            - ネットワークシステムの管理に関すること
            - 国保標準事務処理システムに関すること
            - 後期高齢者医療関係業務（システム関係に関すること）
          - 共同処理係 主幹兼係長 千葉由美子
            - 共同電算処理関係業務に関すること
            - 全国決済業務の総括に関すること
            - 過誤調整関係業務に関すること
            - 国保事業月報、年報処理に関すること
            - 後期高齢者医療関係業務（共同事業・広域連合対応に関すること）
      - （34名）審査業務課 課長 浅野敦子
        - 副参事 壹岐ひさ子
          - 課長補佐 飯塚新一
            - 第一係 係長（課長補佐兼務）
              - 審査業務課の統括及び他課との調整に関すること
              - 歯科に関すること
            - 第二係 主幹兼係長 守喜三男
              - 医科の審査に関すること
          - 課長補佐 渡邊鋭一
            - 第三係 係長 阿部 覚
              - 医科の審査に関すること
            - 第四係 係長（課長補佐兼務）
              - 医科の統括に関すること
              - 高点数審査業務に関すること
              - 医科の審査に関すること
          - 課長補佐 岩渕淳子
            - 第五係 係長（課長補佐兼務）
              - システム関係業務に関すること
              - 医科の審査に関すること
            - 第六係 主幹兼係長 菊地 慎
              - 柔道整復療養費の審査に関すること
              - 訪問看護医療費の審査に関すること
              - 一般療養費の審査に関すること
              - 調剤に関すること
              - 発送業務に関すること

●職員　92名
（県等派遣3名を含む）
●再任用職員　7名
●非常勤職員31名
●パート職員　8名

ダイヤルイン

●総務課・財務課	022（222）7070	●FAX（総務・財務）	022（222）7031
●事業推進課	022（222）7077	●FAX（情報管理）	022（222）7072
●介護保険課	022（222）7079	●FAX（審査管理・審査業務）	022（222）7107
●介護苦情相談窓口	022（222）7700	●FAX（事業・介護）	022（222）7260
●障害総合支援窓口	022（290）2100	URL http://www.miyagi-kokuho.or.jp	
●審査管理課	022（222）7074		
●情報管理課	022（222）7170		
●審査業務課	022（222）7075		

ココロとカラダにやさしい
お料理レシピをご紹介!

旬のたより

旬の彩り 春野菜でおいしくヘルシーに!

旬の食材 グリーンアスパラ

うま味とコクがあり、カロテンやビタミンC、E、B群が多い緑黄色野菜です。
疲労回復やスタミナ増強に効果のあるアミノ酸の一種、アスパラギン酸も多く含まれています。

旬の食材 玉ねぎ

独特の香りと辛味のもととなる硫化リアルという成分は、疲労回復に必要なビタミンB1の吸収を助け、新陳代謝を活発にします。
収穫後すぐに出荷される新玉ねぎは、みずみずしく辛味が少ないので生食でも美味しく食べられます。傷みやすいので早めに食べましょう。

春野菜の洋風おから

材料(2人分)

生おから(石巻・河南産大豆)	60g
鶏ひき肉	40g
にんじん	25g
エリンギ	30g
新玉ねぎ	40g
アスパラガス	15g
オリーブオイル	小さじ1/2
カレー粉	小さじ1/2
Ⓐ 顆粒コンソメ	小さじ1/2弱
Ⓐ 水	120cc
塩・コショウ	少々
しょう油	小さじ1/2弱

1人当たり栄養価　エネルギー：95kcal　たんぱく質：6.8g　塩分：0.7g

作り方

1. おからは皿に広げ、ラップをせずにレンジ500Wで2分ほど加熱する。アスパラガスは塩(分量外)で茹で、ころころの輪切りにする。
2. にんじんは5mm角程度の色紙切りにし、エリンギと新玉ねぎも同じくらいの大きさに切る。
3. フライパンにオリーブオイルを熱し、鶏ひき肉・にんじん・エリンギを炒め、カレー粉を入れさらに炒めてからⒶを入れる。
4. 3が沸騰したら火を弱め、おからと新玉ねぎを入れて混ぜる。全体が好みの固さになるまで水分を飛ばす。
5. 塩・コショウで味を調え、しょう油を加える。器に盛って、アスパラガスを散らして出来上がり。

作る上でのポイント

- グリーンアスパラガスは、切らずに長いまま茹でることでうま味や栄養分の流出を減らすことができます。少なめのお湯に塩を入れて数十秒ほど蒸すと、さわやかな香りや自然な甘みが増します。
- 新玉ねぎの食感と甘味を活かすため、煮過ぎないようにしてください。
- おからは、食物繊維が豊富で低カロリー、今回は石巻・河南産大豆のおからを使いました。カレー味なので、ぜひ子どもたちにも。

石巻市健康部健康推進課技術主幹
(保育所栄養士12年 行政栄養士6年)
佐藤(さとう) 和恵(かずえ)
好きな料理:カレーライス・切干大根の煮物

石巻市の食

石巻市では、復興期を支える食育の取り組みとして『石巻の「すこやかな体と心を育む豊かな食」を未来へつなごう』を基本理念に、関係団体と連携しながら食育をすすめています。

石巻市の沖合、金華山沖は、世界三大漁場の一つと言われ、かつお・いわし・さばなどの水産資源の宝庫です。沿岸部では、かき・ほたて・ほや・のり・銀ざけなどが養殖され、近代捕鯨の地、牡鹿からは鯨食文化を全国に発信しています。

内陸部では、「ひとめぼれ」「ササニシキ」をはじめ、いちご・トマト・きゅうり・ちぢみほうれんそうなど、1年を通じてさまざまな農作物が生産されています。

また、先人たちが今に伝えてきた「おくずかけ」「ずんだ餅」「からし巻」などの郷土料理をはじめ、古くからの食文化を異業種が連携し開発した商品「サバだしラーメン」、B級グルメとして全国的に認知度が高まった「石巻やきそば」、四季折々の魚介類を寿司ネタにした「金華寿司」など美味しい食材、料理が盛りだくさんです。どうぞ、石巻市においでの際はご賞味ください。

宮城県国民健康保険団体連合会
KOKUHO MIYAGI
みやぎの国保 4
2016 Spring [No.264]

[発行月] 平成28年5月
[発行所] 宮城県国民健康保険団体連合会
(宮城県仙台市青葉区上杉1丁目2-3)
[TEL] 022(222)7070
[URL] http://www.miyagi-kokuho.or.jp
[印刷所] 株式会社ホクトコーポレーション

復興へ頑張ろう!みやぎ

このパンフレットは「水なし印刷」により印刷しております。
VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。